



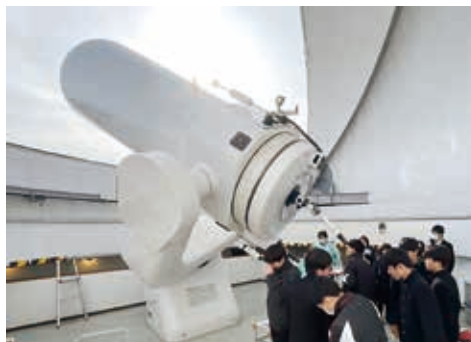
●令和7年度科学センター理科学習が開始！

科学センターでは市内の全小学3年～6年生を対象とした「理科学習」を実施しています。学校現場では準備しにくい実験や観察を中心に学習を進め、児童らの科学に対する興味や関心を育むことを目的としています。本事業は阿南市の理科教育の目玉で、全国でも同規模の事業は他1例しかないユニークな取組です。さらに本事業は、市内全中学3年生向けにも行っています。こちらは大型



天体望遠鏡やモデル実験装置を使った「金星の満ち欠け」に特化した学習です。

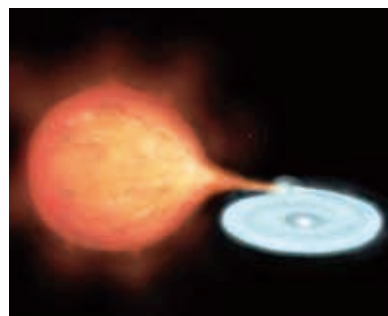
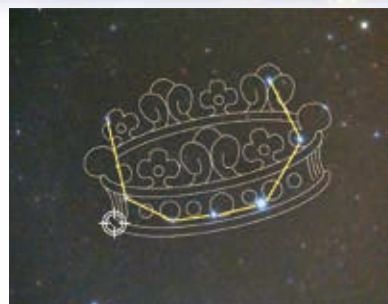
今年度は中学校が5月9日から、小学校が5月12日から開始しています。なお本事業のPR動画を市のYouTubeチャンネルで公開しています。2次元コードからぜひご覧ください！



第27回 あなん星空コラム

6月の夜9時ごろ、夜空を見上げれば頭上高い位置に「かんむり座」と呼ばれる星座が見つかります。明るい1等星はなく、主に2～4等の星からなる星座なので、あまり目立たない存在です。この星座で最も明るく輝く2等星は、「ゲンマ」という名前と呼ばれ、これはラテン語で宝石や真珠を意味しています。

ところで、かんむり座には「眠れる秘宝」ともいうべき星が、影を潜めています。その星の名を「かんむり座T星」と言います。普段は肉眼では見ることができないレベルの暗い星です。しかし、この星は驚くべきことに過去2回（1866年、1946年）、突如ゲンマに匹敵する明るさで輝いていたことがあるのです。このような天体は「新星」とも呼ばれ、星の表面で起こった爆発現象によって、突然明るくなることが知られています。爆発の間隔は約80年とも言われ、今年明るくなってもおかしくありません。そのため、今か今かと世界中の天文ファンが眠れる秘宝の目覚めを心待ちにしています。もし、かんむり座に異変があったときは、ぜひ科学センターまでご連絡ください！（今村和義・著）



【上図】かんむり座T星の位置

【下図】新星の想像図

6月の休館日 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)



プラネタリウム 天体観望会など 土、日曜日の定期イベントはホームページのイベントスケジュールをご覧ください。

科学センター ☎ 42-1600 <https://www.ananscience.jp/science/>

